

時計算（左右対称）

問題 3時と4時のあいだで子午線（12時と6時を結ぶ線）を対称の軸として短針と長針が左右対称の位置にくるのは3時何分ですか。

時計算が、「旅人算のなかま」としてとらえられている受験生にとっては簡単です。
カタチだけの計算で処理している受験生は解けません。
図示して考える…基本的な作業を大切にしましょう。

まずはこう解け！

Step1 はじめの時刻 (この問題なら 4 時) の時計の図を書く！

Step2 問題の条件に合わせて、進んだ角度がわかるように図に書き込む！

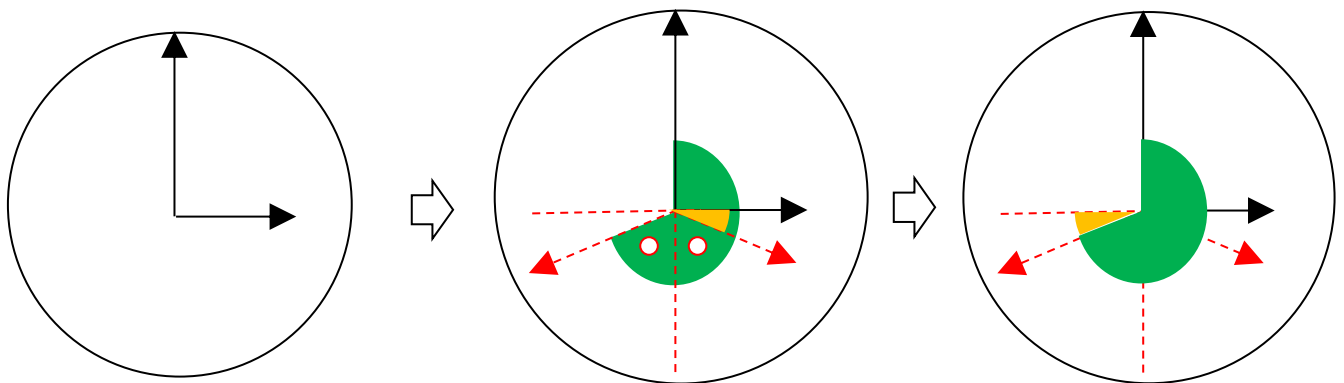
Step3 進んだ角度の和で計算する！



確認しておこう！【時計の針の進む速さ】

短針→12 時間で 1 周 (360°) →1 時間で 30°→1 分で 0.5°

長針→1 時間で 1 周 (360°) →1 分で 6°

😊 解き方



長針の動いた角度→ 、短針の動いた角度→ 

短針の動いた角度を対称の左に移動させると、

長針と短針の動いた角度の和が 270°であることがわかる。

$$\text{よって } 270 \div (6 + 0.5) = 41\frac{7}{13} \text{ 分}$$

答え $41\frac{7}{13}$ 分